

第6回 モノづくり連携大賞

受紹介

～産学官の知恵を束ね、日本の未来への道しるべとなろう！～

審査評

震災を機に、6次産業化に 社会の注目が集まる

今は農業や水産業など第1次産業を発展させた案件が、例年になく目立った。第1次産業、加工・生産の第2次産業、販売・流通などの第3次産業を統合して実現する「6次産業化」に、社会の注目が集まっている訳

拠だろ。東日本大震災を機に、気仙沼での先例で実現していたと知つたり、復興プランで注目されたりというタイ

ミングとも重なった。

受賞例では山口大学

が、東京海洋大学とぐ

るなびのネットワークを

審査委員会委員長
三菱総合研究所理事長

小宮山宏氏

畜産県、群馬ならではの連携プロジェクト

今回、地域内外のネットワーク活用はさらに本格的な連携事例が、これから出てくるのではないか。

いなか。日本の中でも、多くの企業が、

畜産業を貢献する、複数の技術を手堅く成長した。

全国有数の群馬県の畜産業は、低

温で有塗素化合物物の固形分は、低

く、他の畜産

開発製品の一例：「ファイバーボール脱臭装置」

アバロン・タグ

アバロン・タグとの交流から生まれたアワビ資源管理・産地証明技術

アバロン・タグ

アバロン・タグ